

概況

令和5年度の交通基盤部発注工事等に対する各発注事務所等や受注者の様々な取り組みにより、令和6年1月末の事故件数は**43件**（前年同期49件）で、昨年度と比較すると**6件約1割減少**し、重大事故は発生していません。

年度末で工事等施工が増加しますが、引き続き**工事事務事故削減**をお願いします。また、今後とも、多くの費用や手間をかけなくても、日々の作業に伴う事故を防止するための**ちょっとした工夫**で、安全な現場環境づくりをお願いします。

安全対策の好事例

転倒・墜落防止

高所作業で**転落**リスク
↓
足場にハーネス着用高さ明示

建設機械関連事故防止

警報器
センサー

後退時・旋回時の事故リスク
↓
後方センサー、警報器設置

公衆災害防止

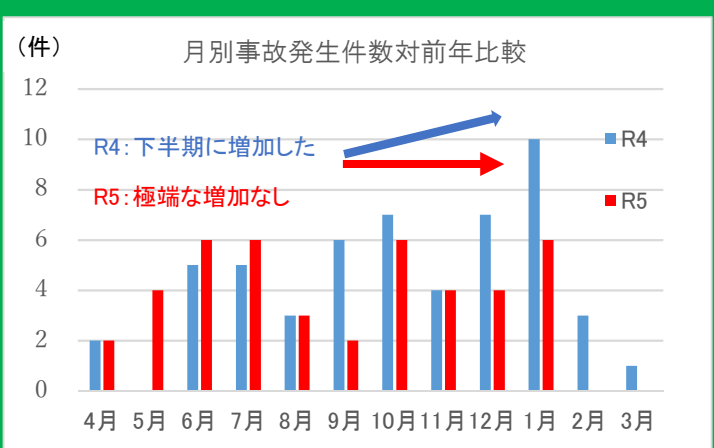
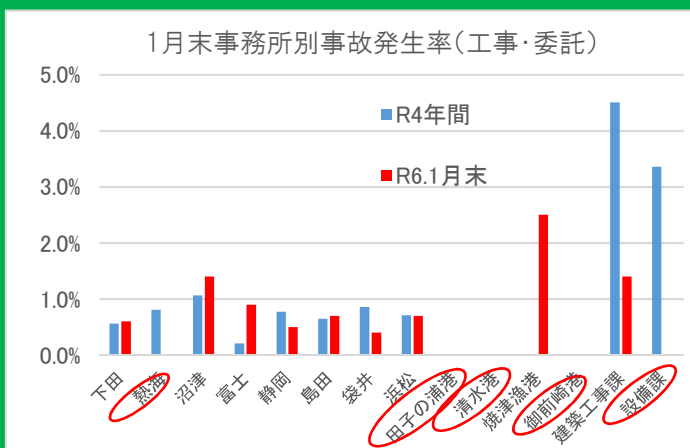
出合いがしら事故の危険
↓
目立つ看板で注意喚起

見える化

新規入場者をサポート
↓
ヘルメットにステッカー貼付

事故関連データ

- 熱海土木、田子の浦港、清水港管理局、御前崎港、設備課で工事事務事故ゼロを継続
- 9月以降、事故発生件数は前年度と同じか下回る状況を継続中。



※事故発生率(%) = 事故件数(件) / 工事・委託実施件数(件)

※R5. 1月工事事務事故件数に、事故種別未確定分は含まず

令和5年度の事故防止対策の取組み

- (4月) 「事故防止重点対策」通知を発出し、関係機関に周知及び注意喚起
- (4月) 入札・契約制度説明会で工事安全対策について出先事務所へ説明
- (4月) 建設工事等安全管理推進連絡会議を開催
- (4月) 建築工事「事故防止重点対策の徹底」通知を発出し、関係機関に周知及び注意喚起
- (5月) 土木技術職員説明会、新任検査員研修、入札契約制度説明会（建通新聞）、道路事業説明会などで注意喚起
- (5月) A-press（安全通信）を発行し安全対策の好事例をPR
- (5月) 「一現場・安全一工夫」の事例収集開始
- (6月) 事故の多発を受け、「建設工事現場における事故防止について」の通知
- (6月) A-press（安全通信）6月号を発行し熱中症対策の注意喚起
- (7月) 架空線損傷事故の多発を受け、「建設工事現場における事故防止について」の通知
- (7月) A-press（安全通信）7月号を発行し現場での安全の一工夫の事例
- (8月) A-press（安全通信）8月号を発行し架空線事故防止の工夫の紹介
- (8月) 国道1号線バイパスの死亡事故を受け、本庁関係各課及び事務所へ発出し注意喚起
- (8月) 重大事故につながる挟まれ事故をニュースレターで注意喚起
- (9月) A-press（安全通信）9月号を発行し除草作業時の飛び石防止対策の紹介
- (9月) 建設業労働災害防止協会と合同で安全講習会
- (9月) 優良工事・優良業務委託表彰の際に安全講習会
- (9月) 県、市町職員の安全意識を高めるため、工事事故防止の研修
- (10月) A-press（安全通信）で現場での安全の一工夫の事例
- (10月) 建設工事等安全管理推進連絡会議を開催
- (10月) 重大事故につながる足場の転落事故をニュースレターで注意喚起
- (11月) A-press（安全通信）で現場での安全の一工夫の事例
- (12月) A-press（安全通信）で現場での安全の一工夫の事例
- (12月) 「一現場・安全一工夫」のポスター作成
- (1月) A-press（安全通信）で現場での安全の一工夫の事例
- (2月) A-press（安全通信）で現場での安全の一工夫の事例
- (随時) アクシデントニュース速報を発行し注意喚起

【令和6年1月の工事等事故】

- 1 河川工事で大型土のうによる腹付け盛土を行うため法面を段切する際、埋設管を破損させた物損事故
- 2 維持管理業務で、樹木の剪定作業中、剪定用バリカンで架空線を損傷させた物損事故
- 3 道路沿いの樹木伐採作業中、架空線を損傷させた物損事故
- 4 床掘作業中に出た巨石を人力で横移動する際、地面と巨石の間に指を挟み負傷した傷害事故
- 5 不要材料処理のためグラインダーで切断中、グラインダーがはじかれ膝に刃が当たり負傷した傷害事故
- 6 屋根防水工事で、既設防水層撤去後の雨により雨漏りし、内装材を損傷させた物損事故